様式１号

入口金具と袋本体との組合せ表

申請者

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 連番 |  |  |  |  |
| 記号組合せ内容 |  |  |  |  |
| １ | 試験・判定基準第４･１(2)の袋本体の長さ　　　　　　　ｍ |  |  |  |  |
| ２ | 展　　張　　方　　向 | (1) | 垂直式（ハッチ用も含む｡） |  |  |  |  |
| (2) | 斜降式 |  |  |  |  |
| ア　直　面　　　建物側 |  |  |  |  |
| イ　側　面 |  |  |  |  |
| ウ　半直面 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|
| ３ | 展 張 部 材 の 結 合 位 置 | (1) |  |  |  |  |  |
| (2) |  |  |  |  |  |
| (3) |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

注１　２(1)及び２(2)ア並びにイについては、該当する欄に○印を付す。ウについては、角度を記入する。

２　３については、該当する欄に該当する結合位置をＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄの符号で記入する。

３　２及び３の例以外のものについては、空欄に記入する。

様式２号　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　３の１

救　助　袋　の　明　細　書

 申請者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種　別 |  | 型式記号 |  |
| 種　別項　目 | 垂　　直　　式 | 斜　　降　　式 |
| 構　　　　　　　　造　　　　　　　　・　　　　　　　　形　　　　　　　　状 | １ | 袋本体(1)　袋本体にかかる引張力に対する措置(2)　本体布の上端(3)　本体布及び展張部材の下端(4)　落下防止措置(5)　降着の際、衝撃を受ける部分の緩衝措置(6)　出口付近 |  |  |
| ２ | 本体布等の縫い合せ(1)　ミシン加工ア　縫い方法イ　縫い目数（許容差を記載）(2)　滑り降りる方向の縫い合せ部ア　本体布相互イ　本体布と展張部材ウ　本体布と落下防止措置(3)　滑り降りる方向に直角の方向の縫い合せ部ア　本体布相互イ　本体布と受布ウ　落下防止措置相互エ　落下防止措置の上端 |  |  |
| ３ | 展張部材の本数 |  |  |
| ４ | 入口金具 |  |  |
| ５ | 下部支持装置 |  |  |
| ６ | 各結合部(1)　本体布と袋取付枠との結合部(2)　本体布と展張部材との結合部(3)　袋本体と下部支持装置との結合部(4)　展張部材と袋取付枠との結合部(5)　展張部材相互(6)　展張部材と落下防止措置に用いる網との結合部(7)　取手と袋本体又は受布との結合部 |  |  |

３の２

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種　別項　目 | 垂　　直　　式 | 斜　　降　　式 |
| 構造・形状 | ７ | 附属装置(1)　誘導綱(2)　砂袋等(3)　入口金具の底部等 |  |  |
| ８ | 調速機能（構造、勾配等） |  |  |
| 寸　　　　　　　　　　　　　法 | １ | 救助袋の断面の大きさ（最小値）　　　　　mm |  |  |
| ２ | 袋本体(1)　全長　　　　　　　　　　　　　　　ｍ(2)　滑降面の長さ　　　　　　　　　　　ｍ(3)　取手及び取手の間隔　　　　　　　　mm(4)　ハトメの間隔（袋取付枠との結合部にハトメを用いた場合）　　　　　　　mm(5)　網目の辺の長さ（落下防止用に網を用いた場合）　　　　　　　　　　　　mm(6)　保護マット及び受布（受布は斜降式のみ）　　　　　　　　　　　　　　　mm(7)　本体布と袋取付枠との結合に用いるロープ　　　　　　　　　　　　　　　mm |  |  |
| ３ | 支持枠の底部の横桟の間隔　　　　　　　　mm |  |  |
| ４ | 附属装置(1)　誘導綱の長さ及び形状　　　　　ｍ、mm(2)　砂袋等の重さ　　　　　　　　　　　 kg(3)　入口金具の底部の保護マット等　　　mm |  |  |
| 材　　　　　　　　　　質 | １ | 入口金具（ハッチ用のものは、取付枠等） |  |  |
| ２ | 本体布、受布及び袋本体滑降部の落下防止措置に用いる布 |  |  |
| ３ | 入口金具の覆い布 |  |  |
| ４ | 展張部材 |  |  |
| ５ | 縫　糸 |  |  |

３の３

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種　別項　目 | 垂　　直　　式 | 斜　　降　　式 |
| 材　　　　　　　　　　　　　　　　質 | ６ | 袋本体滑降部の落下防止措置に用いる網 |  |  |
| ７ | 取　手 |  |  |
| ８ | 下部支持装置(1)　ロープ等(2)　滑車(3)　フック |  |  |
| ９ | 袋本体と袋取付枠との結合に用いるロープ又は結合糸等 |  |  |
| 10 | ハトメに使用する止め金 |  |  |
| 11 | 滑着の際、衝撃を受ける部分の緩衝措置 |  |  |
| 12 | 附属装置(1)　誘導綱(2)　砂袋等(3)　入口金具の底部の保護マット等 |  |  |
| 13 | 耐食加工法 |  |  |
| 性　　能 |  | 降下速度　ダミー　　　　　　　　　　ｍ/ｓ　　　　　人体　　　　　　　　　　　ｍ/ｓ | 地上高ｍ | 地上高ｍ |

様式３号　　試験品質計画書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 試験品目の管理 | 試験の方法 | 試験結果のチェック |
| 試験を実施する職員 | 報告書 |
| 施設及び環境 | 設備及び標準物質 | 計量トレーサビリィティと校正 |
| 申請者 |  | 一般財団法日本消防設備安全センター |
| 作成 | 審査 | 承認 | 受付 | 確認 | 承認 |
|  |  |  |  |  |  |

様式４号　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 　　 　　　　　　　 　　　 　 11の１

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 救助袋型式（立会・社内）試験記録表（垂直式・斜降式） | 試験年月日 | 年　月　日 | 年　月　日 | 年　月　日 | 実施者 |
| 試験条件 | 開始時 | 終了時 | 開始時 | 終了時 | 開始時 | 終了時 | 印 |
| 天　候 |  |  |  |  |  |  | 印 |
| 申請者 |  | 温　度 | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | 立会者 |
| 型式記号 |  | 湿　度 | ％ | ％ | ％ | ％ | ％ | ％ | 印 |
| 試験場所 |  | 実施項目 |  |  |  |  |  |  | 印 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 試　　験　　項　　目 | 基　　　　　　　準 | 申　請　値 | 判 定 | 備　　　考 |
| １　　　　　構　　　　　造　　　　　・　　　　　形　　　　　状 | (1) 袋本体　ア　垂直式　　(ア)　袋本体にかかる引張力に対　　　する措置　　(イ)　本体布の上端　　(ウ)　落下防止の措置　　(エ)　降着の際、衝撃を受ける部分　　(オ)　出口部　　(カ)　出口付近　イ　斜降式　　　前ア(ア)、(イ)、(ウ)によるほか次　　による　　(ア)　本体布及び展張部材の下端(イ)　降着の際、衝撃を受ける部分　(ウ)　出口付近(2) 本体布等の縫い合せ　ア　ミシン加工　　(ア)　縫い方法　 (イ)　縫い目数(ウ)　仕上りイ　滑り降りる方向の縫い合せ部　(ア)　本体布相互 | 袋本体にかかる引張力が主として展張部材にかかる構造のものであること。（注）①　展張部材の本数　　　②　いせ込み等の措置袋取付枠に引張力が均等に作用するように取り付けたものであること。使用の際、摩耗及び衝撃を受ける滑降部に布又は無結節の網を設けたものであること。マット等の緩衝措置を受けたものであること。転落せず容易に脱出できるものであること。把握することのできる取手４個以上を左右均等の位置に取り付けたものであること。ただし、５ｍ以下は、２個とすることができる。下部支持装置に引張力が均等に作用するように取り付けたものであること。受布及び保護マットを設けたものであること。把握することのできる取手６箇以上を左右均等の位置に取り付けたものであること。本縫いとしたもので、本体布の縫い目は、ほつれないように十分に折り返し、縫い始め縫い終りは３cm以上の返し縫いとし、糸の切れた部分は７cm以上の二度縫いとしたものであること。本体布の厚さに応じ、10cm間に15針以上25針以下のものであること。糸切れ、縫い外れ、著しい縫い飛び及び縫い目曲りがなく、かつ、糸調子は良好であること。①　2.5cm以上重ね又は合わせて、かつ、３条縫い以上のミシン加工としたものであること。②　使用の際、摩耗及び衝撃を受ける滑降部には、設けないものであること。（例）　　　　　滑降部　　　　滑降部（下半部） |  | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 |  |

11の２

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 試　　験　　項　　目 | 基　　　　　　　準 | 申　請　値 | 判 定 | 備　　　考 |
| １　　　　　　　　　　構　　　　　　　　　　造　　　　　　　　　　・　　　　　　　　　　形　　　　　　　　　　状 | (イ)　本体布と展張部材　　(ウ)　本体布と落下防止措置ウ　滑り降りる方向に直角の方向の縫い合せ部　　(ア)　本体布相互　(イ)　本体布と受布(ウ)　落下防止措置相互　 (エ)　落下防止措置の上端エ　下部支持装置　　（斜降式に限る｡）(3) 附属装置　ア　誘導綱イ　砂袋等ウ　入口金具の底部等(4) 入口金具 | 本体布と展張部材のそれぞれにマーキングをし、マークに合わせて結合糸にゆるみがないように縫着したもので、ミシン加工又は手加工のいずれかとしたものであること。①　落下防止用として布を外面に用いた構造のものにあっては、布の縫い目は、ほつれないように、1.5cm以上折り返し、２条縫い以上のミシン加工としたものであること。②　落下防止用として外面に網を取り付けた構造のものにあっては、ミシン加工又は手加工のいずれかとしたものであること。上部の本体布を内面にし、６cm以上重ねて５条縫い以上のミシン加工としたものであること。2.5cm以上重ねて、かつ、３条縫い以上のミシン加工としたものであること。①　落下防止用として布を用いた構造のものにあっては、前（ア）に準ずるものとする。②　落下防止用として外面に網を取り付けた構造のものにあっては、５目以上重ねたものであること。　袋取付枠又は本体布に強固に取り付けられたものであること。袋本体を確実に支持できるもので、展張の際、確実、かつ、容易に操作できるものであること。袋本体又は下部支持装置の先端に確実に取り付けたものであること。ただし、５ｍ以下は設けなくてもよい。①　誘導綱の先端に取り付けられたものであること。②　夜間において識別しやすい措置を施したものであること。　（注）白色又はこれと同等以上の効果を有するもの①　底部にはマット等を設けたものであること。②　その他の面にあっては、覆い布を設けたものであること。申請図書に適合していること。 |  | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 |  |

11の３

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 試　　験　　項　　目 | 基　　　　　　　準 | 申　請　値 | 判 定 | 備　　　考 |
| ２　　　寸　　　法 | (1) 救助袋の断面の大きさ(2) 袋本体　ア　垂直式　　(ア)　全　長(イ)　取手及び取手の間隔(ウ)　本体布と袋取付枠との結合部にハトメを用いた場合におけるハトメの間隔(エ)　本体布と袋取付枠との結合に用いるロープ(オ)　落下防止用に網を用いた場合の網目の大きさイ　斜降式　　前ア(イ)、(ウ)、(エ)及び(オ)によるほか次による。　　(ア)　全　長　　(イ)　受布の長さ及び幅(ウ)　出口部の保護マット(3) 支持枠の底部の横桟の間隔(4) 誘導綱　ア　長　さイ　形式ウ 砂袋等の重量 | 直径50cm以上の球体が通過することができる大きさであること。　申請図書に適合していること。（注）袋取付枠より出口部の下端までの長さ（無負荷の状態）　次図に示す寸法であること。15±2cmの範囲内であること。　ロープの太さは、４mm以上とする。　網目の辺の長さは５cm以下であること。　申請図書に適合していること。　(注） 袋取付枠より袋本体と下部支　　　持装置の結合部までの滑降面の長さ（無負荷の状態）長さは袋本体と下部支持装置の結合部より1.2ｍ以上2.5ｍ以下、幅は降着の際、支障のない寸法であること。降着の際、安全を確保できる大きさであること。間隔は18cm以下であること。①　垂直式にあっては、袋本体の全長プラス４ｍ以上であること。②　斜降式にあっては、袋本体の全長以上であること。直径４mm以上のロープ等であること。　0.3kg以上であること。 |  | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | ただし、袋本体の長さが５ｍ以下のものは、次図による。間隔は、左右均等の位置 |
| ３　　　材　　　質　　　等 | (1) 本体布及び袋本体滑降部の落下防止措置に用いる布(2) 展張部材　ア　ロープ(3) 本体布と袋取付枠との結合に用いるロープ(4) 下部支持装置（斜降式）　ア　ロープの耐候性　イ　滑　車 | ①　密度は十分で織りむら等のないこと。②　伸び率　ストランドのより（リード）①　密度は十分で織りむら等がなく、糸の一部が切断しても容易にほつれない組織であること。②　伸び率　前(2)アに準ずる。暴露前の強度の85％以上であること。　堅木又は同等以上の耐久性のあるもの |  | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 |  |

11の４

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 試　　験　　項　　目 | 基　　　　　　　準 | 申　請　値 | 判 定 | 備　　　考 |
|  | (5) 耐食加工(6) 入口金具(7) ハトメ | 耐食加工を施したものであること。基準に適合していること。JIS S 9021に適合していること。 |  | 良　否良　否良　否 |  |
| ４　　　　　　　　　　　　　　　　強　　　　　　　　　　　　　　　　度 | (1) 本体布、受布、保護マット及び袋本体滑降部の落下防止措置に用いる布　ア　引張強さ及び引裂強さ　イ　耐候性　ウ　摩耗強さ　エ　収縮率(2) 覆い布の引張強さ及び引裂強さ(3) 展張部材　ア　引張強さ　　(ア)　ロープ(イ)　ベルトイ　耐候性 | 　次表に掲げる数値に適合していること。単位 Ｎ

|  |  |
| --- | --- |
| 引 張 強 さ | 引 裂 強 さ |
| 縦方向 | 横方向 | 縦方向 | 横方向 |
| 1,000以上 | 120以上 |

　前アの85％以上であること。単位 回数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 試験種別 | 摩耗強さ | 研磨紙種別 |
| 平均摩耗 | 200以上 | JIS R 6253(耐水研磨紙cc-600-cw） |
| 屈曲摩耗 | 1,000以上 |  |

　縦1.5％以下、横1.5％以下であること。　次表に掲げる数値に適合していること。単位 Ｎ

|  |  |
| --- | --- |
| 引 張 強 さ | 引 裂 強 さ |
| 縦方向 | 横方向 | 縦方向 | 横方向 |
| 800以上 | 80以上 |

　次表に掲げる数値に適合していること。垂直式

|  |  |
| --- | --- |
| 袋本体の全長 | 引張強さ（単位 kN） |
| 10ｍ以下 | 以上 |
| 10ｍを超え20ｍ以下 | 以上 |
| 20ｍを超え30ｍ以下 | 以上 |
| 30ｍを超えるもの | 以上 |

斜降式

|  |  |
| --- | --- |
| 袋本体の全長 | 引張強さ（単位 kN） |
| 15ｍ以下 | 以上 |
| 15ｍを超え30ｍ以下 | 以上 |
| 30ｍを超え40ｍ以下 | 以上 |
| 40ｍを超えるもの | 以上 |

（注）Ｎは展張部材の本数ビニロンロープに準ずる。20時間暴露後の引張強さは、暴露前の強度の85％以上であること。 |  | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 |  |

11の５

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 試　　験　　項　　目 | 基　　　　　　　準 | 申　請　値 | 判 定 | 備　　　考 |
| ４　　　　　　　　　　　　　　　　強　　　　　　　　　　　　　　　　度 | 　ウ　摩耗強さ　　(ア)　ロープ　　(イ)　ベルト　エ　収縮率(4) 誘導綱の引張強さ(5) 縫　糸（本体布の縫い合せ部分、本体布と受布との結合部分及び袋本体滑降部の落下防止措置に用いる布の部分）ア　引張強さ及び引掛強さイ　耐候性ウ　摩耗強さ(6) 袋本体滑降部の落下防止措置に用いる網ア　引張強さイ　耐候性(7) 取手の引張強さ(8) 本体布と袋取付枠との結合に用いるロープ又は結合糸ア　引張強さ(ア)　ロープ垂直式

|  |  |
| --- | --- |
| 袋本体の全長 | 引 張 強 さ（単位 kN） |
| 10ｍ以下 | 以上 |
| 10ｍを超え20ｍ以下 | 以上 |
| 20ｍを超え30ｍ以下 | 以上 |
| 30ｍを超えるもの | 以上 |

(イ)　結合糸 | 　直径12mmから24mmのものについて、次表に掲げる数値に適合していること。

|  |  |
| --- | --- |
| ロープの種類 | 摩擦残存強度率(％) |
| ビニロンロープ | 50以上 |
| ナイロンロープ | 55 〃 |
| ポリエステルロープ | 55 〃 |

（直径12mm未満のものは、負荷引張荷重値は、同規定を準用する｡）　次表に掲げる数値に適合していること。

|  |  |
| --- | --- |
| ベルトの種類 | 摩擦残存強度率(％) |
| ビニロンベルト | 50以上 |
| ナイロンベルト | 55 〃 |
| ポリエステルベルト | 55 〃 |

　縦1.5％以下であること。　3.0kN以上であること。次表に掲げる数値に適合していること。単位 Ｎ

|  |  |
| --- | --- |
| 引張強さ |  60以上 |
| 引掛強さ | 100以上 |

前アの表に掲げる数値の85％以上であること。切断時の摩耗回数は500回以上であること。３kN以上の引張強さがあること。前アの数値の85％以上であること｡亀裂、破損等のないこと。次に掲げる数値に適合していること。斜降式

|  |  |
| --- | --- |
| 袋本体の全長 | 引 張 強 さ（単位 kN） |
| 15ｍ以下 | 以上 |
| 15ｍを超え30ｍ以下 | 以上 |
| 30ｍを超え40ｍ以下 | 以上 |
| 40ｍを超えるもの | 以上 |

　前(ア)の表に掲げる数値に適合していること。（ハトメの総数を袋本体の周長に代えて行う｡） |  | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 |  |

11の６

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 試　　験　　項　　目 | 基　　　　　　　準 | 申　請　値 | 判 定 | 備　　　考 |
| ４　　　　　　　　　強　　　　　　　　　　　　　度 | イ　耐候性(9) 入口金具の引張強さア　垂直式イ　斜降式(10) 下部支持装置の引張強さ（斜降式に限る｡）(11) 本体布と袋取付枠との結合部の引張強さ(12) 本体布と展張部材との縫い合せ部(13) 袋本体と下部支持装置との結合部の引張強さ(14) 展張部材と袋取付枠との結合部の引張強さ(15) 展張部材相互の結合部の引張強さ(16) 本体布滑降部の落下防止措置に用いる網と展張部材との結合部の引張強さ(17) 取手と袋本体又は受布との結合部の引張強さ | 　前ア(ア)の表に掲げる数値の85％以上であること。　著しい変形、破損又は離脱を生じないこと。　張設ロープ、滑車及びフックに著しい変形、亀裂又は損傷のないこと｡　結合部の本体布、結合糸及びハトメに異常のないこと。　縫い合せ部に亀裂、損傷等のないこと。　結合部に著しい変形、亀裂又は損傷がないこと。　結合部に異常がないこと。　前(3)に示す数値に適合していること。　結合部に亀裂、損傷のないこと。　亀裂、損傷等のないこと。 |  | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 |  |
| ５　　　　　　　　動　　　　　　　　　　　　　作 | (1) 垂直式　ア　650Ｎの荷重を袋本体の降着部に１分間加えて、袋本体の最下端部と着地面との高さを測定イ　ダミーによる測定　救助袋の出口部を把持する場合又は把持しない場合のいずれの状態においても停止せず、不規則降下のしないもので、かつ、平均速度は６ｍ/ｓ以下、瞬間最大速度は８ｍ/ｓ以下であること。ウ　人体による降下　救助袋の出口部を把持する場合又は把持しない場合のいずれの状態においても停止せず、不規則降下のしないもので、平均速度は４ｍ/ｓ以下の速度であること。この場合において、最大瞬間速度は６ｍ/ｓ以下であること。　また、降着の際、衝撃を受けず、かつ、転落せず容易に脱出できるものであること。(2) 斜降式ア　ダミーによる降下　途中で停止せず、不規則降下のしないもので、平均速度は８ｍ/ｓ以下、瞬間最大速度は９ｍ/ｓ以下であること。イ　人体による降下　途中で停止せず、不規則降下のしないもので、平均７ｍ/ｓ以下の速度であること。この場合において、最大瞬間速度は８ｍ/ｓ以下であること。また、降着の際、衝撃を受けず、かつ、転落せず容易に脱出できるものであること。 | 測定値を記録する。①　単独降下②　連続降下①　単独降下②　連続降下③　10ｍ以下のもの　ア　10ｍのもの　イ　2.5ｍのもの　単独降下①　単独降下②　連続降下 |  | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 |  |

11の７

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 試　　験　　項　　目 | 基　　　　　　　準 | 申　請　値 | 判 定 | 備　　　考 |
| ５　　　　　　動　　　　　　作 | (3) 展張・収納　（ハッチ用は､10回繰り返し行う｡）（注）斜降式は前①から⑧のほか、次の①から③による。 | ①　入口金具及び袋本体は円滑に、かつ、正常に展張できること。②　入口金具と取付具との結合部の回転は円滑であること。③　入口金具に変形、損傷等の生じないこと。④　袋取付枠と本体布及び展張部材との結合部に異常がないこと。⑤　展張の際、入口金具における左右のワイヤロープ等に均等に力がかかっていること。⑥　覆い布に損傷等がないこと。⑦　円滑に展張できるような収納方法であること。⑧　その他異常のないこと。①　よじれ、片だるみのないこと。②　展張したとき、袋本体の下部出口の底部は、地盤面等より0.5ｍ以上1.0ｍ以下の高さにあること。③　下部支持装置は確実、円滑かつ、速やかに操作できるものであること。 |  | 良　否 |  |
| 　　６　　　表　　　　示 | 　表　示①　種別（垂直式又は斜降式の区別をいう｡）②　製造者又は商標③　製造年月④　製造番号⑤　設置階数⑥　展張方向（斜降式の救助袋に限る｡）⑦　袋本体の長さ⑧　型式記号⑨　認定番号 | 　袋本体の出口部の外面に確実に取り付けられたものであること。 |  | 良　否 |  |

様式５号（その１）　　　　　　　　　　　 　 　　　　　　　　　　　　　　　　No.1/2

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 救助袋個別（立会・社内）検査記録表（ 垂 直 式 ） | 検査年月日 |  | ロット番号 |  | 検査実施者・立会者 |
|  | 開始時 | 終了時 | ロットの大きさ |  | 印 |
| 検 査 条 件 | 天　　候 |  |  |  | 印 |
| 申 請 者 |  | 温　　度 | ℃ | ℃ |  |
| 型式記号 |  | 湿　　度 | ％ | ％ |  |
| 認定番号 |  | 検　査　場　所 |  | 合　格　・　不合格 |
| 検　　査　　項　　目 | 製造番号試料番号申請値(型式) |  |  |  |  |  |  | 備　考 |
|  |  |  |  |  |  |
| １ 　　 構　　造 　･ 　形　　状 | (1) 袋本体　ア　本体布の上端と袋取付枠との措置　　　（袋取付枠に引張力が均等）　イ　落下防止措置　　　（使用の際、摩擦及び衝撃を受ける滑降部）　ウ　降着の際、衝撃を受ける部分の緩衝措置　　　（マット等の緩衝措置）　エ　出口付近の取手　　　（４個以上、５ｍ以下のものは２個以上）(2) 本体布等の縫い合せ　ア　ミシン加工　　(ア)　縫い方法（裁ち目部分、縫い始め終り部分、糸切れ部分の処置）　　(イ)　縫い目数（15針～25針/10cm許容差５針以下）　　(ウ)　仕上り（糸切れ、縫いはずれ、縫い飛び、縫い目曲がり、糸調子）　イ　滑り降りる方向の縫い合せ部　　(ア)　本体布相互（2.5cm以上重ね又は合せ３条縫い以上のミシン加工、摩擦及び衝撃を受ける滑降部には設けない｡）　　(イ)　本体布と展張部材（マーキング）　　(ウ)　本体布と落下防止措置（布の裁ち目は、1.5cm以上折り返し、２条縫い以上のミシン加工）　ウ　滑り降りる方向に直角の方向の縫い合せ部　　(ア)　本体布相互（上部の本体布を内面にし、６cm以上重ねて５条縫い以上のミシン加工）　　(イ)　落下防止措置相互（布を用いたものは、(ア)に準ずる。網を用いたものは、５目以上重ねたもの）(3) 附属装置　ア　誘導綱　イ　砂袋等ウ　マット等（注）誘導綱：５ｍ以下のものは、省略してもよい。(4) 入口金具　　（組立て加工、溶接加工、覆い布、マット等）(5) その他各結合部、調速措置等　　（型式承認時の試料と照合） |  | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 |  |

 　　No.2/2

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 検　　査　　項　　目 | 製造番号試料番号申請値(型式) |  |  |  |  |  |  | 備　考 |
|  |  |  |  |  |  |
| ２　　寸　　法 | (1) 袋本体　　全長(2) 入口金具　（有効幅、高さ、長さ、横桟間隔、各部材）(3) 付属装置　ア　誘導綱の長さ、形状　（袋本体の全長＋４ｍ以上　直径４㎜以上）　イ　その他　（型式承認時の試料と照合） |  | 良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否 |  |
| ３　　材　　質 | (1) 本体布及び落下防止用布　（密度、織りむら、伸び等）(2) 展張部材　ロープ（ストランドのより(リード)）　　　　　　　ベルト（密度、編みむら、組織、同一ロットの試料で確認）(3) 縫糸(4) 入口金具(5) 耐食加工 |  | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否 |  |
| ４　表　示 | (1) 表示と取付位置(2) 注意事項等の標識の有無 |  | 良　否良　否 | 良　否良　否 | 良　否良　否 | 良　否良　否 | 良　否良　否 | 良　否良　否 |  |
| （強度・降下等） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注）１　仕掛品についての検査の結果は、不良の場合には○を付し、備考欄に不良内容を記載する。不良箇所を改善し、改善処置方法及び処置日を記載し、に×印を記す。（例・）

　　　２　材料証明書は、材料の購入ロットごととする。

×

　　　３　該当しない項は、斜線を引く。

様式５号（その２）　　　　　　　　　　　 　 　　　　　　　　　　　　　　　　No.1/2

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 救助袋個別（立会・社内）検査記録表（ 斜 降 式 ） | 検査年月日 |  | ロット番号 |  | 検査実施者・立会者 |
|  | 開始時 | 終了時 | ロットの大きさ |  | 印 |
| 検 査 条 件 | 天　　候 |  |  |  | 印 |
| 申 請 者 |  | 温　　度 | ℃ | ℃ |  |
| 型式記号 |  | 湿　　度 | ％ | ％ |  |
| 認定番号 |  | 検　査　場　所 |  | 合　格　・　不合格 |
| 検　　査　　項　　目 | 製造番号試料番号申請値(型式) |  |  |  |  |  |  | 備　考 |
|  |  |  |  |  |  |
| １ 　　 構　　造 　･ 　形　　状 | (1) 袋本体　ア　本体布の上端と袋取付枠との措置　　　（袋取付枠に引張力が均等）　イ　本体布及び展張部材の下端と下部支持装置との措置（引張力が均等）　ウ　落下防止措置　　　（使用上の際、摩擦及び衝撃を受ける滑降部）　エ　降着の際、衝撃を受ける部分の衝撃措置　　　（受布及び保護マット）　オ　出口付近の取手（６か所以上）(2) 本体布等の縫い合せ　ア　ミシン加工　　(ア)　縫い方法（裁ち目部分、縫い始め終り部分、糸切れ部分の処置）　　(イ)　縫い目数（15針～25針/10cm許容差５針以下）　　(ウ)　仕上り（糸切れ、縫いはずれ、縫い飛び、縫い目曲がり、糸調子）　イ　滑り降りる方向の縫い合せ部　　(ア)　本体布相互（2.5cm以上重ね又は合せ３条縫い以上のミシン加工、摩擦及び衝撃を受ける滑降部には設けない｡）　　(イ)　本体布と展張部材（マーキング）　　(ウ)　本体布と落下防止措置（布の裁ち目は、1.5cm以上折り返し、２条縫い以上のミシン加工）　ウ　滑り降りる方向に直角の方向の縫い合せ部　　(ア)　本体布相互（上部の本体布を内面にし、６cm以上重ねて５条縫い以上のミシン加工）　　(イ)　落下防止措置相互（布を用いたものは、(ア)に準ずる。網を用いたものは、５目以上重ねたもの）　エ　下部支持装置(3) 附属装置　ア　誘導綱　イ　砂袋等(4) 入口金具　　（組立て加工、溶接加工、覆い布、マット等）(5) その他各結合部、調速措置等　　（型式承認時の試料と照合） | （入口金具の型式記号） | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否良　否 |  |

　No.2/2

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 検　　査　　項　　目 | 製造番号試料番号申請値(型式) |  |  |  |  |  |  | 備　考 |
|  |  |  |  |  |  |
| ２　　寸　　法 | (1) 袋本体　　全長(2) 入口金具　（有効幅、高さ、長さ、横桟間隔、各部材）(3) 付属装置　ア　誘導綱の長さ、形状　（袋本体の全長＋４ｍ以上　直径４㎜以上）　イ　その他　（型式承認時の試料と照合） |  | 良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否 |  |
| ３　　材　　質 | (1) 本体布及び落下防止用布　（密度、織りむら、伸び等）(2) 展張部材　　　ベルト（密度、編みむら、組織、同一ロットの試料で確認）(3) 縫糸(4) 滑車(5) 入口金具(6) 耐食加工 |  | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否 | 良　否良　否良　否良　否良　否良　否 |  |
| ４　表　示 | (1) 表示と取付位置(2) 注意事項等の標識の有無 |  | 良　否良　否 | 良　否良　否 | 良　否良　否 | 良　否良　否 | 良　否良　否 | 良　否良　否 |  |
| （強度・降下等） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注）１　仕掛品についての検査の結果は、不良の場合には○を付し、備考欄に不良内容を記載する。不良箇所を改善し、改善処置方法及び処置日を記載し、に×印を記す。（例・）

　　　２　材料証明書は、材料の購入ロットごととする。

×

　　　３　該当しない項は、斜線を引く。

様式６号

設　　置　　場　　所　　等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 製造番号 | 袋本体の長さ | 出荷予定日 | 台　　数 | 設 　置 　場 　所 |
| 地上高 | 年月日 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |